

システムの名称：P & C-MJ システム

第1章 システムの基本的な考え方

本システムは、伝統的な木造軸組工法を継承しながら、総合建材メーカーとしてのメリットを活かし、住宅部材の合理化及び省施工化を図り、熟練工でなくとも高品質且つ耐震性に優れた住宅を短工期・低価格で建てられるよう、営業・設計・積算・施工までをシステム化したものである。

第2章 システムの概要

2-1 合理化の概要

- (1) 構造材・羽柄材（野地・垂木・破風）を自社工場にてプレカット加工。
- (2) フレーム接合金物を自社工場にてプレカット。
- (3) 床パネル（構造用合板）及び床断熱材を自社工場にてプレカット加工。
- (4) 外壁下地面材＋木軸＋断熱材を自社工場にて一体化させた外部壁パネル生産。
- (5) 内部耐力壁面材＋木軸を自社工場にて一体化させた内部壁パネル生産。
- (6) 造作材（窓枠・ドア枠）・階段部材等の内装部材を工場にてプレカット。
- (7) 1・2階の床組はネダレスの剛床とし、柱は管柱のみで通し柱を通さず、床先行施工のプラットフォームフォーム工法。
- (8) 外壁・内部耐力壁パネルを組み込むことにより筋交い・間柱が不要。

2-2 構法の概要

(1) フレーム金物接合

構造躯体は、強度の安定した構造用集成材を高強度のフレーム金物によって接合（図2-2-1）。施工精度を安定させると共に、構造材同士を強固に緊結して耐久性・耐震性を向上させた。



図 2-2-1

(2) モノコック構造

壁面と床面に工場生産された壁パネル・床パネルを取付け 躯体全体をひとつの箱とするモノコック構造を形成（図2-2-2）。壁・床が軸と一体化した面となり、外力を壁面全体で受け止め軸の接合部への力の集中を緩和させて、変形しにくい優れた耐震・耐風性能が得られる。

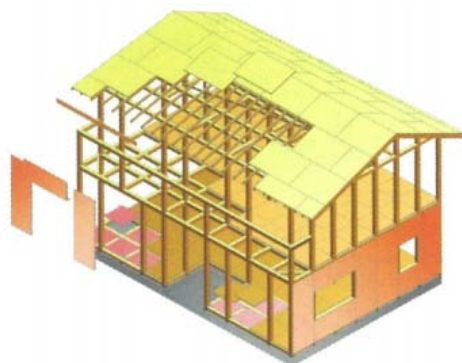
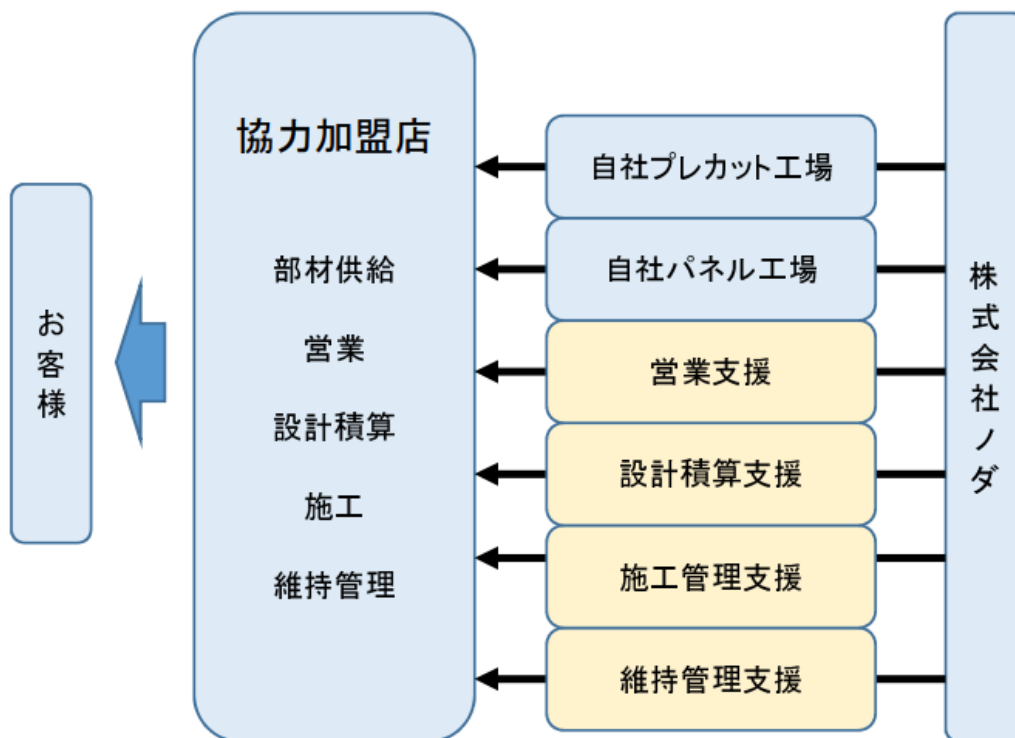


図 2-2-2

第3章 供給体制について

協力加盟店方式。契約、規定に基づく責任分担を実施。



第4章 維持管理について

4-1 維持管理補修サービス

住宅瑕疵担保責任保険を活用し、住宅引き渡しから、1、6、12、23ヶ月経過後にサービスマンが巡回サービスを実施。

その後10年目までは、住宅金融支援機構監修「住まいの管理手帳」に従い、お施主自身による点検を行う。

10年目直前にお客様の要望により10年前点検及び修繕（有償）を行い、必要箇所について10年目メンテナンスを行う。

以降、10年目毎にメンテナンス行った住宅に限り、個別に定める長期保守点検契約に基づく点検を50年まで実施する。

4-2 保全計画書

保全計画書の構成内容は、「住宅瑕疵担保責任保険」に基づき ①構造耐力上主要な部分 ②雨水の浸入を防止する 部分に分け作成する。